

別記様式(第4条関係)

会議録

会 議 名 称	令和5年度第1回第4次加東市地域福祉計画策定委員会
開 催 日 時	令和5年8月7日(月) 13時30分から15時10分まで
開 催 場 所	社福祉センター2階レクリエーション室
出 席 委 員 (名簿順表記)	藤原慶二、中村勇、小林宮子、竹内司、阿江俊英、藤原孝章、依藤眞弓、戸田潔子、中河勝正、遠山純子、亀野恵子、菅野光記、井上正義、日下伸一、神弘文、石田三有希、藤井ひとみ、大西ひとみ、松本匡美  (計19名)
欠 席 委 員	なし
事 務 局	福祉総務課 課長 平野好美 主査 橋本実穂 主事 細川ちひろ 社会福祉協議会 局長 楯本俊也 次長 松本多美子 課長 西山昌希 主任 角田久美子 課員 岡田知佳 今榮直子
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1) 委員長・副委員長の選任について (2) 地域福祉計画について (3) 地域福祉計画策定に係るアンケート調査、団体ヒアリングについて 4. その他 5. 閉会
会 議 資 料	・策定委員会次第 ・委員名簿 ・資料 No. 1 加東市地域福祉計画策定委員会設置要綱 ・資料 No. 2 加東市社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会規程※ ・資料 No. 3 地域福祉計画について ・資料 No. 4 地域福祉計画策定に係るアンケート調査、団体ヒアリングについて ・資料 No. 5 地域福祉に関する意識調査 ・地域福祉計画(推進計画)について(関西福祉大学 藤原委員長) ※資料 No. 2 は加東市社会福祉協議会資料

発言者	会議の経過/発言内容
	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ (事務局より委員紹介) (事務局より事務局紹介)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 委員長・副委員長の選任について 事務局案に対し全員承認により、委員長は藤原慶二委員、副委員長は日下伸一委員に決定する。</p> <p>(2) 地域福祉計画について ○事務局より「資料 No. 3 地域福祉計画について」を用いて説明 ○委員長より「地域福祉計画（推進計画）について」を用いて説明</p> <p>(3) 地域福祉計画策定に係るアンケート調査、団体ヒアリングについて ○事務局より「資料 No. 4 地域福祉計画策定に係るアンケート調査、団体ヒアリングについて」を用いて説明 ○事務局より「資料 No. 5 地域福祉に関する意識調査」を用いて説明</p> <p>(質疑応答)</p> <p>委員 地域福祉計画策定に係るアンケート調査について、回収率40%を目標とされているが、せめて半分以上の回答はあるかと思っていました。これは回収率として低いのではないのですか。</p> <p>事務局 加東市が実施する他の計画についても、おおよそ同様の回答率となっています。他市をみても、回答率は高くない状況です。また、前回の地域福祉計画策定時は2,000人を対象にアンケート調査を実施しましたが、今回は対象者を4,000人に増やしています。若い世代にも回答しやすいよう、今回は新たにインターネット回答の選択を設けており、回答率を上げる工夫をしています。</p> <p>委員 私は別の計画に携わっているものですから、回収率がこんなに低いのかとびっくりしました。</p> <p>事務局 前回の計画策定の結果を見ても、70代、60代、50代、40代と年齢の高い方がアンケートを返してくださる状況にあります。20代、30代となると10%台で低い状況でした。そのため、インターネット回答を実施し、若い方からも回答していただけるようにしていきたいと考えております。</p> <p>委員長 地域福祉計画のアンケートは回収率が3割を超えると相当高いと言われるくらいです。それを4割目指すということなので、高い数値目標だと思って聞いていました。</p>

委員	<p>事前に本日の資料が届いたがアンケート調査の返信用封筒が入っていませんでした。</p>
事務局	<p>委員の皆様には事前に見本としてアンケート調査票（案）を郵送させていただきました。そのため返信用封筒を同封していませんでしたが、本番のアンケート調査票には返信用封筒も同封させていただきます。</p> <p>今のところ、9月初旬に発送し、9月下旬までに回答いただく予定です。</p>
委員	<p>アンケート調査の回収率について加東市は高い方だと聞きましたので、今回の40%という数値を目標にして、さらに回収率を伸ばしていただきたいです。若い方向けにインターネット回答を実施されるという説明をお伺いしましたが、比較的回収率の高い高齢者の回収率を維持・向上していく工夫がもう一声必要ではないでしょうか。介護支援専門員としても協力できることはあると思うため、何か考えて頂けたらと思っております。</p>
事務局	<p>頂いたご意見を踏まえて、ご依頼させていただきます。</p>
委員	<p>アンケート調査票の内容について、問14「あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。」という問を新たに追加しているが、「2. 友人などが一緒なら参加したい」、「3. 時間があれば参加したい」の回答があった場合、どう誰が手助けできるのか。活動したいけど、できない方をどのように参加に繋げていくのかを分析していけるような設問になると良いと思います。</p>
事務局	<p>頂いたご意見を踏まえ修正を検討します。</p>
委員	<p>問22「次の名称や内容についてご存じですか。」という問にて、「ア. 地域包括ケアシステム」、「ウ. 地域共生社会」が大きな概念の単語であると感じました。この問により、どのような分析ができるのか。例えば地域福祉計画推進会議で評価の高くなかった「高齢者の見守り事業」や「個別支援計画作成促進事業」など、加東市として認知度を上げていかなければならない具体的な単語を設問として入れるといいのではないのでしょうか。ご検討ください。</p>
事務局	<p>頂いた意見を参考に修正を検討します。</p>
委員	<p>市と社協のアンケートの回収率が全く同じ40%を目標とすることとしているが、市と社協とそれぞれで内容が異なるということで良かったですか。</p>
事務局	<p>意識調査のアンケートも団体ヒアリングも市と社協が共同で実施するものにな</p>

	<p>っていますが、役割分担として、アンケートを市が、団体ヒアリングを社協が行うと説明させてもらいました。団体ヒアリングについては、福祉団体へ活動調査を実施したいと考えておりまして、別の意識調査を行う予定です。</p>
委員長	<p>意識調査は市と社協共同で同じ内容のアンケートになります。</p>
委員	<p>宛名の本人が、アンケート調査票の回答が困難な場合、家族などが代筆をすることになるが、宛名の本人自身の思いと回答に乖離が生まれるのではないですか。</p>
事務局	<p>基本的は本人に回答していただくことを想定していますが、回答が難しい場合は代筆も可能であるという注意書きをアンケート調査票表紙に入れてあります。どなたでも回答しやすい工夫を更に検討していきます。</p>
委員長	<p>基本は本人が書く、また本人が書いたとみなしたアンケート調査結果になります。</p>
委員	<p>アンケートの間23の「ワンオペ」や「ヤングケアラー」等、わかる人は良いのですが、意味がわからない人もいると思うので、言葉の意味を載せてもらえないですか。年配の人にもできるだけわかりやすい設問にしてもらいたいです。</p>
事務局	<p>事前に送付したアンケートは言葉の意味を載せていなかったのですが、本日、差し替え分として机上配付しているアンケートには用語解説を追記して載せています。追加修正となり、申し訳ありません。</p>
委員	<p>アンケート調査の対象となる4,000人はどのような内訳なのでしょう。加東市は地域によって状況がかなり異なると思いますが、その辺りはどのように考えているのですか。</p>
事務局	<p>地区別人口の割合を考慮し、男性・女性のバランスを取って抽出しています。</p>
委員	<p>相対的に高齢者が多くなっていると思うが、子育て世帯、若い世代の意見も大切になってくると思います。その辺りの配慮はされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほどの地区別、男女別以外に年代も区切りを設けて対象者を抽出しています。</p>
委員長	<p>回答者の性別を問う必要はあるのかと感じている。性別は検討いただきたい。</p>
事務局	<p>頂いた意見を参考に修正を検討します。</p>

委員長	回答者の年代だけでなく、実年齢を記入していただく設問を追加したほうが分析の幅が広がるのではないかと思いますので、ご検討ください。
事務局	頂いた意見を参考に修正を検討します。
委員長	問4「お住まいの地区をお応えください。」の設問は、地区が分からない方向けの選択肢を追加すると良いのではないですか。
事務局	頂いた意見を参考に修正を検討します。
委員	対象者の抽出・回答結果の分析において、障害の有無は考慮されているのですか。
事務局	アンケート調査の対象者の抽出にあたっては、障害の有無は反映していませんが、団体ヒアリングなどで障害者関係団体の意見も拾い上げていくことを検討しています。また、計画を策定していくにあたり、障害担当課とも一緒に検討を行っていく予定です。今年度は担当課が障害の計画を策定していくと聞いておりますので、その意見も参考にしながら策定していきます。
委員	前期高齢者・後期高齢者とあるように、その区別もできるような年代の区分とするのが良いのではないですか。
事務局	頂いた意見を参考に修正を検討します。
委員長	インターネット回答の場合、QRコードの使い分けをするなどで、重複回答を防ぐことはできるのですか。回答者が複数回答しないよう、回答した人を特定できる様な回答方法にした方が良いのではないのでしょうか。
事務局	インターネット回答の方法については委託業者に確認します。
	4. その他 第2回会議は令和6年2月を予定している。日程が決まり次第、ご連絡する。
	5. 閉会
	以上

令和5年 9月25日

会長 藤原 慶二

署名人 竹内 司

署名人 小林 宥子